平成30年３月期　第２四半期
決算説明会

平成29年11月1日

CUBE SYSTEM

JPX
東証一部上場
（証券コード：2335）

CUBE SYSTEM

Ⅰ　平成30年３月期　第2四半期　決算概況

Ⅱ　平成30年３月期　見通し

Ⅲ　中期経営ビジョンの進捗と今後の展望

Ⅰ　平成30年３月期　第２四半期　決算概況

CUBE SYSTEM

１．　連結損益計算書概要
２．　営業利益の増減要因（前年同期）
３．　品目別売上高・売上総利益推移
４．　業種別売上高・売上総利益推移
５．　顧客グループ会社に対する売上高推移
６．　一人当たり指標

CUBE SYSTEM

1．連結損益計算書概要

売上高

流通業におけるスーパー向け開発案件の拡大に加え、通信業における通信キャリア向けシステム基盤構築案件での拡大等により計画を上回る結果となりました。
しかしながら、金融業における保険会社向け開発案件ならびにメガバンク向け開発案件にて計画を下回る結果となり、当初業績予想に対し、2.2%減となりました。

利益

品質向上施策として、プロジェクト体制増強の実施により製造費用が増加する結果となりました。
また、クラウドサービス・ブロックチェーン等の研究開発活動の一部を当初計画に対し前倒しで実行し、販売費及び一般管理費が増加したことにより、当初業績予想に対しそれぞれ減少する結果となりました。

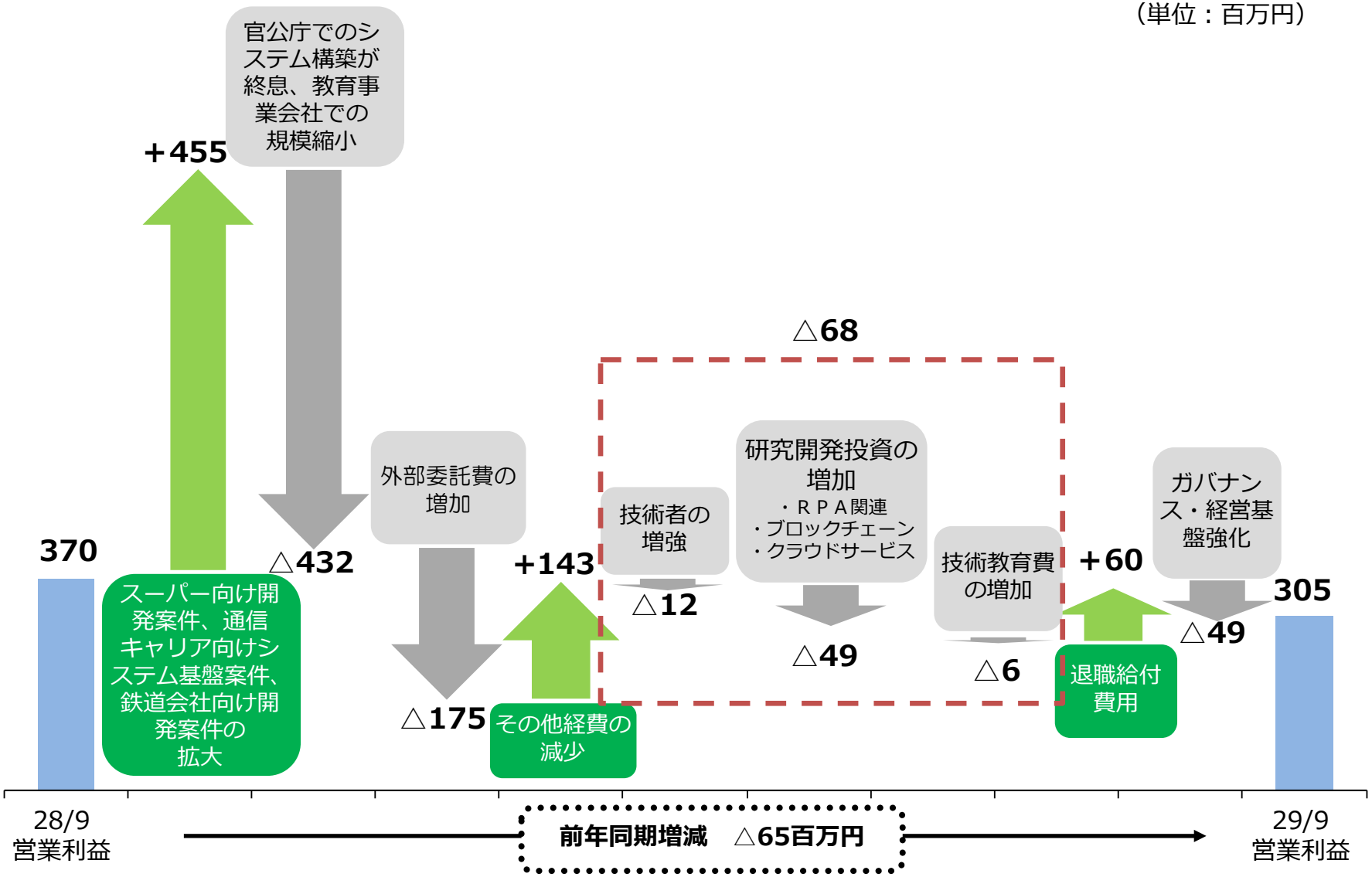
（単位：百万円）	29/9 実績	当初業績予想との比較		前年同期との比較	
		29/9当初予想（H29.5.10）	増減率	28/9 実績	増減率
売上高	**6,487**	6,630	△2.2%	6,463	+0.4%
営業利益 （営業利益率）	**305** **(4.7%)**	400 (6.0%)	△23.6%	370 (5.7%)	△17.6%
経常利益 （経常利益率）	**306** **(4.7%)**	420 (6.3%)	△27.1%	377 (5.8%)	△18.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 （同四半期純利益率）	**180** **(2.8%)**	260 (3.9%)	△30.3%	256 (4.0%)	△29.6%

※ 平成29年10月16日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を開示しております。

Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

2．営業利益の増減要因（前年同期）

（単位：百万円）

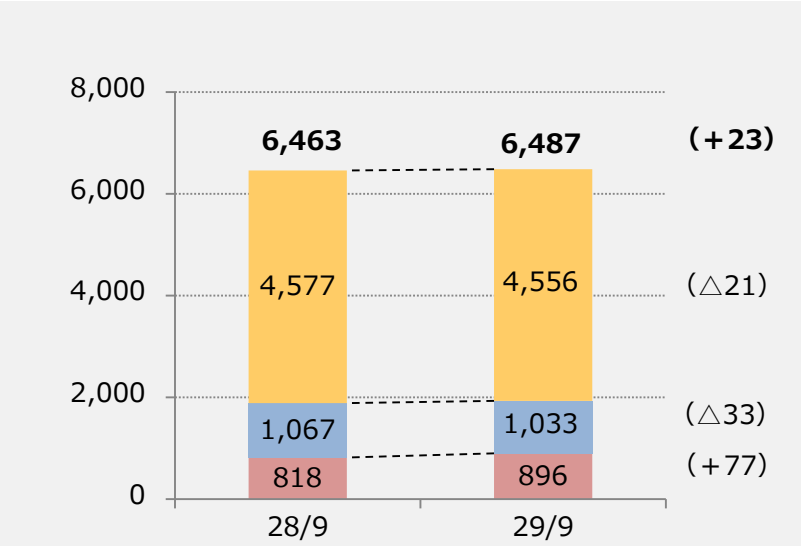


Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

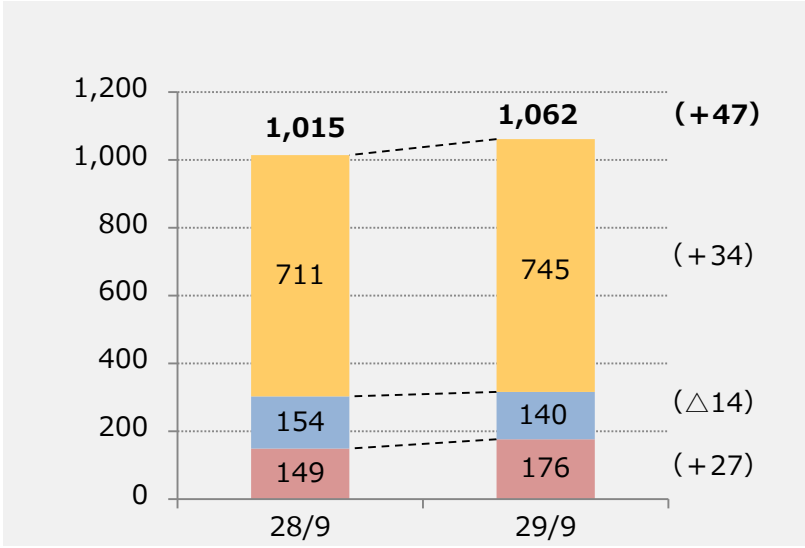
3．品目別売上高・売上総利益推移

サービス品目	売上高 前年同期比	売上総利益 前年同期比	増減要因
システムインテグレーション・サービス	**99.5%**	**104.8%**	・流通業におけるスーパー向け基幹システム開発案件の拡大 ・金融業における銀行向けシステム構築案件の拡大 ・官公庁におけるシステム構築案件の終息
システムアウトソーシング・サービス	**96.9%**	**90.6%**	・流通業におけるコンビニエンスストア向け案件の縮小 ・その他業種における教育事業会社向け案件の縮小 ・金融業における証券取引所向け案件の拡大
プロフェッショナル・サービス	**109.5%**	**118.6%**	・通信業における通信キャリア向け基盤構築案件の拡大
合計	**100.4%**	**104.7%**	

◆ 売上高（百万円）



◆ 売上総利益（百万円）

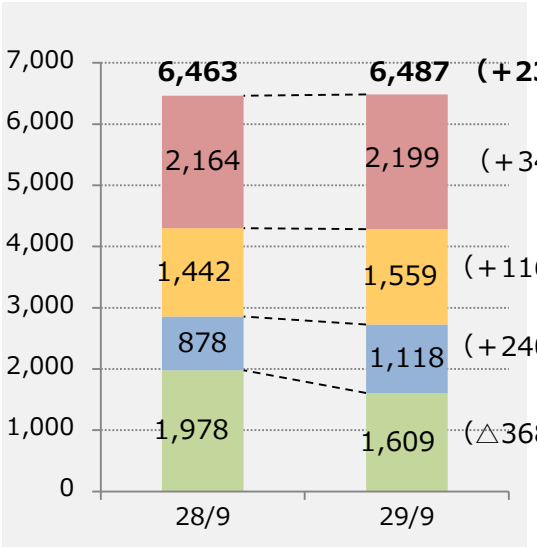


Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

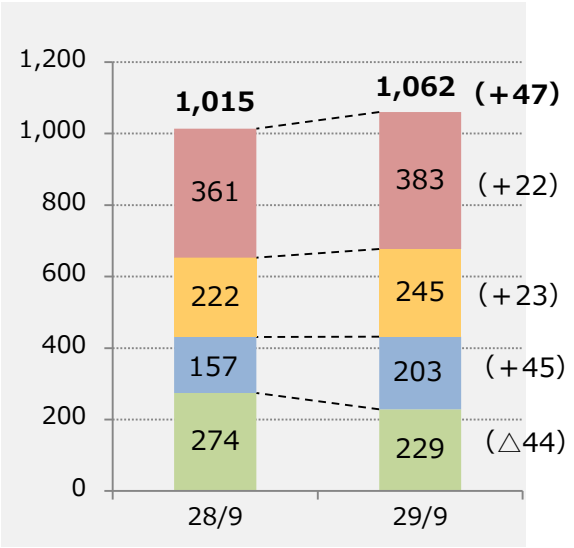
4．業種別売上高・売上総利益推移

業種	売上高 前年同期比	売上総利益 前年同期比	増減要因
金融業	**101.6%**	**106.1%**	・銀行向けシステム構築案件及び証券取引所向け案件の拡大 ・銀行基盤構築案件及び生命保険会社向け開発案件の縮小
流通業	**108.1%**	**110.7%**	・スーパー向けシステム構築案件の拡大 ・食品総合商社向け案件及び総合商社向け案件の拡大
通信業	**127.4%**	**129.1%**	・通信キャリア向け基盤構築案件の拡大 ・鉄道会社向けシステム構築案件の拡大
その他	**81.4%**	**83.9%**	・教育事業会社向け開発案件の規模縮小

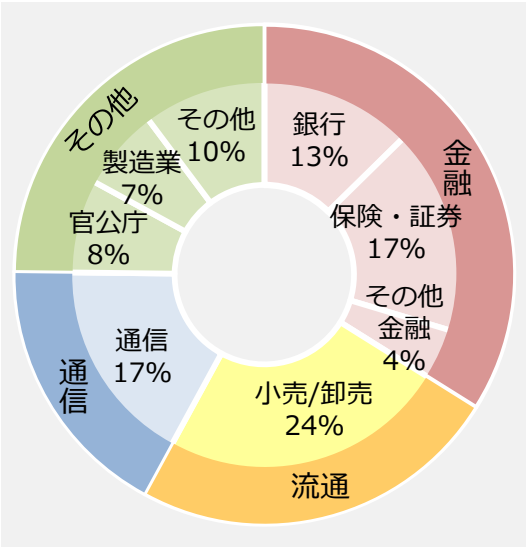
◆ 売上高（百万円）



◆ 売上総利益（百万円）



◆ 29/9 業種別売上高構成詳細

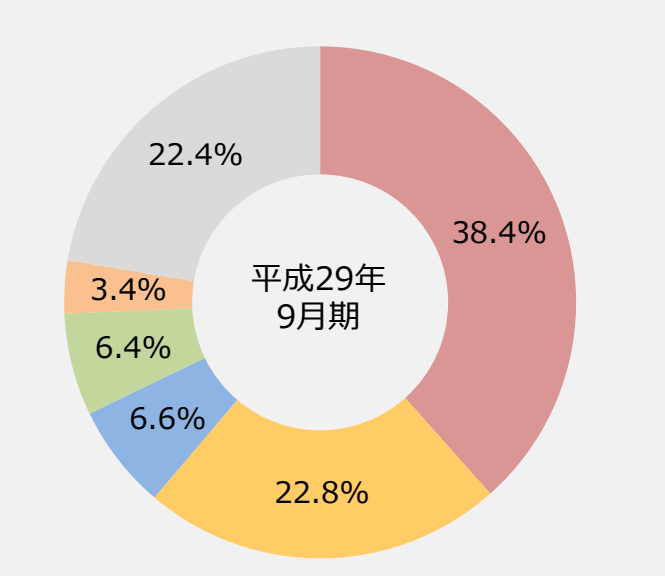


Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

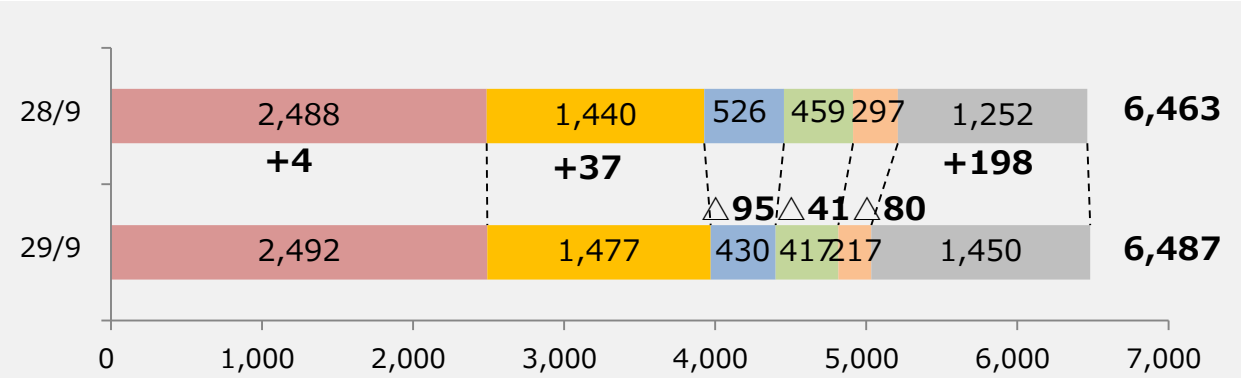
5．顧客グループ会社に対する売上高推移

グループ	売上高構成比	売上高前年同期比
ＮＲＩグループ	38.4%	100.2%
富士通グループ	22.8%	102.6%
みずほグループ	6.6%	81.8%
イオングループ	6.4%	91.0%
ＮＥＣグループ	3.4%	73.0%
グループ５社合計	77.6%	96.6%

◆ 売上高構成比



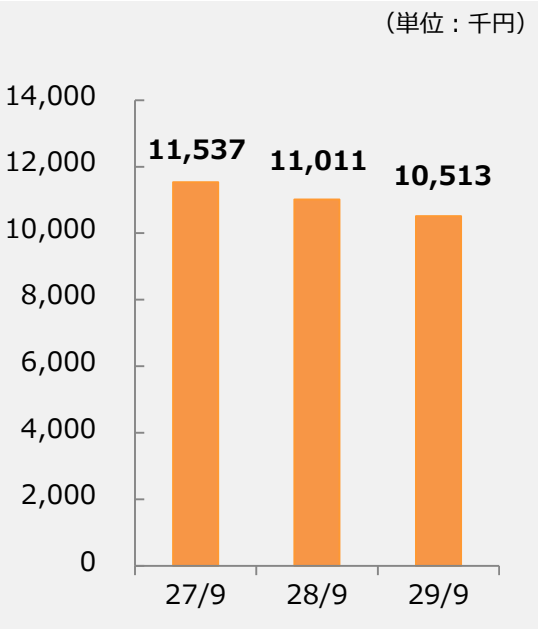
◆ 売上高（百万円）



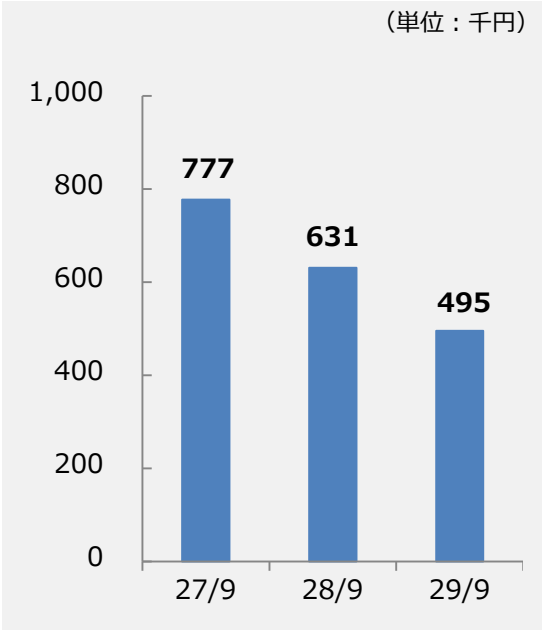
Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

6．一人当たり指標

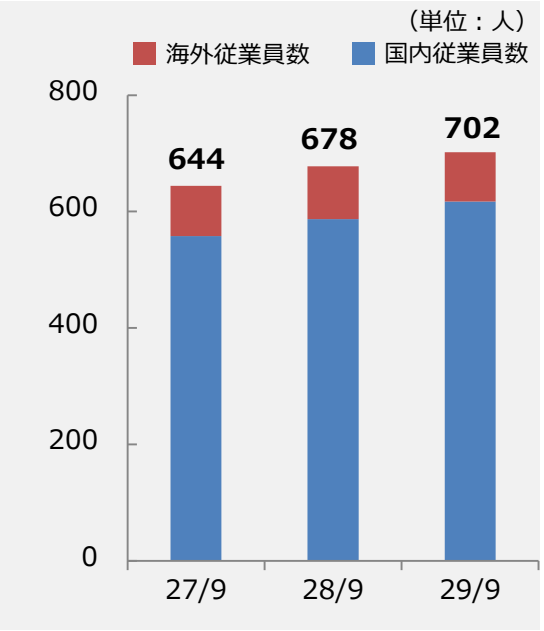
◆ 一人当たり売上高※



◆ 一人当たり営業利益※



◆ 従業員数



（単位：千円／人）

	27/9	28/9	29/9	前年同期増減
一人当り売上高	**11,537**	**11,011**	**10,513**	**△498**
一人当り営業利益	**777**	**631**	**495**	**△136**

従業員数 合計	**644**	**678**	**702**	**+24**
国内従業員数	558	587	617	**+30**
海外従業員数	86	91	85	**△6**

※「国内従業員数」にて算出しております。

Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

Ⅱ　平成30年３月期　見通し

CUBE SYSTEM

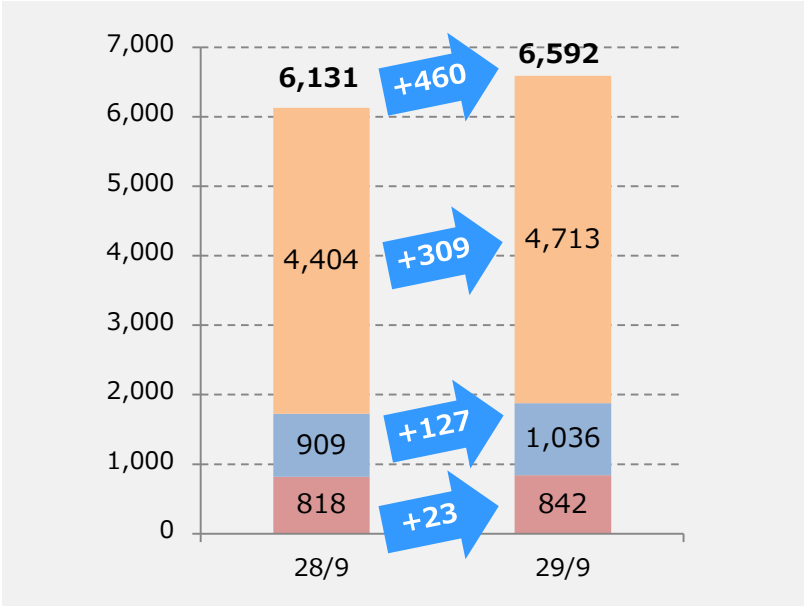
１．　品目別受注状況
２．　業種別受注状況
３．　業績見通しの概要
４．　業種別売上高見通し
５．　配当金および配当性向の推移

1．品目別受注状況

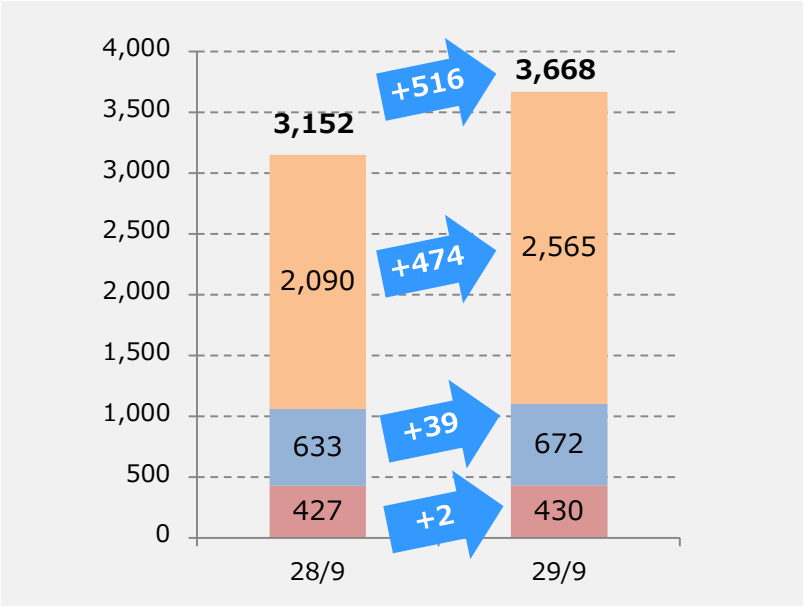
（単位：百万円）

	28/9		29/9			
	受注高	期末受注残高	受注高	前年同期比	期末受注残高	前年同期比
システムインテグレーション・サービス	4,404	2,090	4,713	107.0%	2,565	122.7%
システムアウトソーシング・サービス	909	633	1,036	114.0%	672	106.2%
プロフェッショナル・サービス	818	427	842	102.9%	430	100.7%
合計	6,131	3,152	6,592	107.5%	3,668	116.4%

◆ 受注高推移（百万円）



◆ 受注残高推移（百万円）



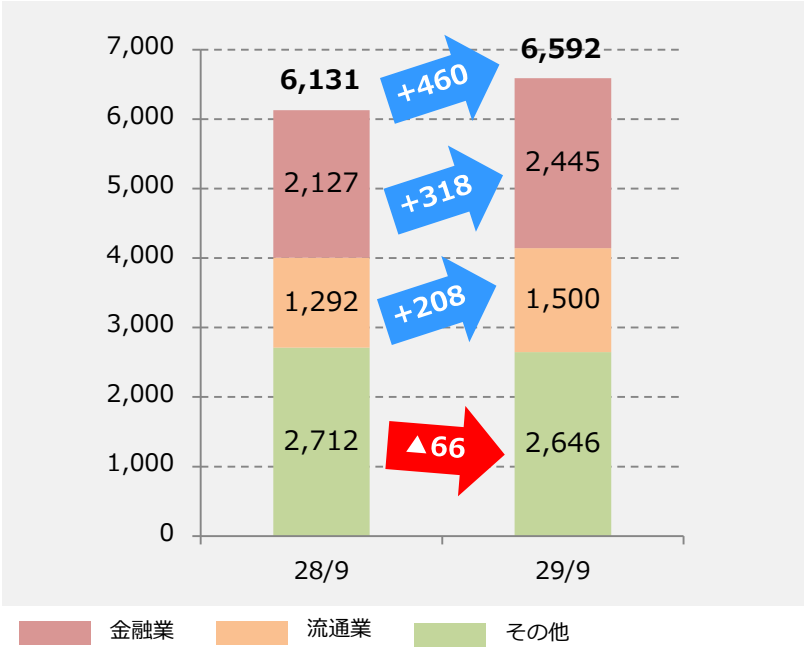
Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

2．業種別受注状況

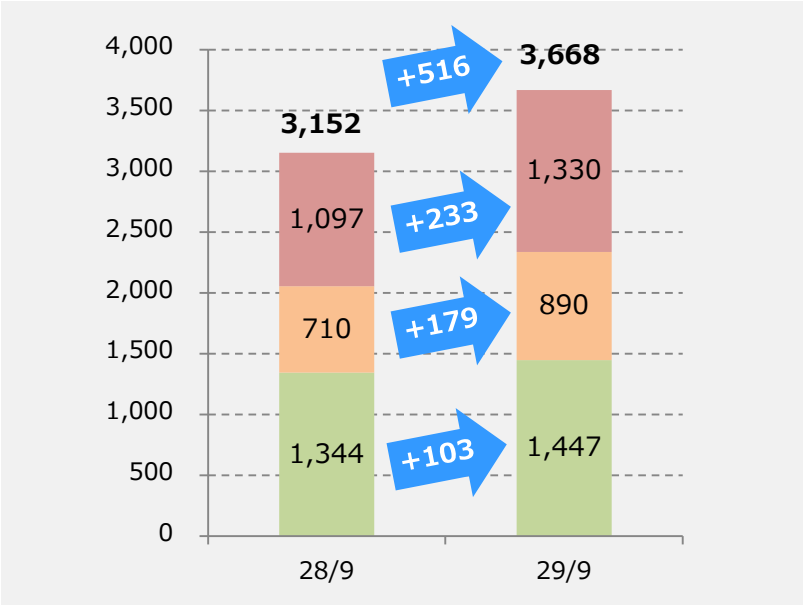
（単位：百万円）

	28/9		29/9			
	受注高	期末受注残高	受注高	前年同期比	期末受注残高	前年同期比
金融業	2,127	1,097	2,445	115.0%	1,330	121.3%
流通業	1,292	710	1,500	116.1%	890	125.3%
その他	2,712	1,344	2,646	97.6%	1,447	107.7%
合計	6,131	3,152	6,592	107.5%	3,668	116.4%

◆ 受注高推移（百万円）



◆ 受注残高推移（百万円）



Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

3．業績見通しの概要

～計画達成に向けた下期施策～

営業	受注残の早期確保 新規顧客開拓/既存顧客受注拡大/体制の強化
利益改善	ビジネスモデル改革による利益率の改善 継続案件のサービスモデル化/生産性の向上 本社横串機能での的確な牽制 プロジェクトリスクの定量化
中長期	新規事業創発のための技術投資 クラウドサービス/ブロックチェーン等 人材育成/成長する機会の創出

Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

3．業績見通しの概要

売上高

Fintech、IoT、AI、RPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）等の次世代技術に対し、企業のIT投資意欲は高く継続して推移すると見通しております。
当社においては、上期までの進捗はほぼ計画通りであり、受注残においても前年を上回っております。
各業種においても受注拡大傾向が継続し、当初予想通り進捗する見通しです。

利益

継続して取り組んでいるサービスモデルの改善や、ビジネスパートナーを活用したプロジェクト効率の向上、働き方に重点をおいた生産性向上施策の取り組みによって、収益面の改善を推進してまいります。
また、販管費及び一般管理費は、上期に前倒しした研究開発活動の一部を除き、計画通り推移するため、それぞれの利益につきましても、当初予想に変更はありません。

（単位：百万円）	30/3 見通し	前期比			29/9 実績	通期予想に対する上期進捗率
		29/3	増減額	増減率		
売上高	**14,300**	12,899	+1,400	+10.9%	6,487	45.4%
営業利益 （営業利益率）	**1,060** **(7.4%)**	781 (6.1%)	+278	+35.7%	305 (4.7%)	28.8%
経常利益 （経常利益率）	**1,080** **(7.6%)**	811 (6.3%)	+268	+33.1%	306 (4.7%)	28.4%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益 （同当期(四半期)純利益率）	**650** **(4.5%)**	551 (4.3%)	+98	+17.9%	180 (2.8%)	27.8%

※　通期業績予想は2017年５月10日に発表した予想を据え置いております。

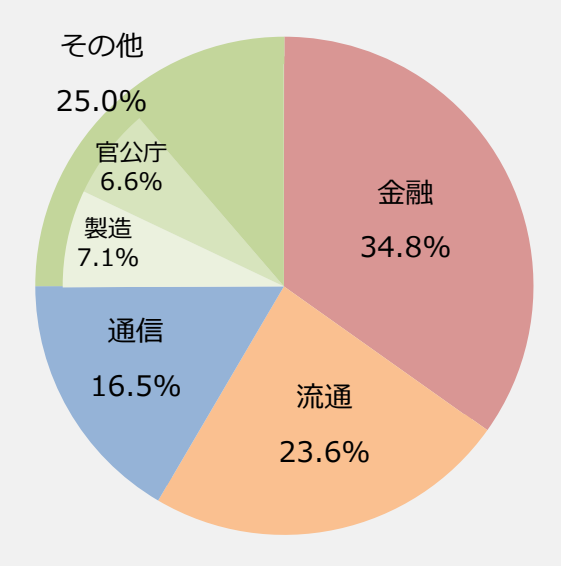
Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

4．業種別売上高見通し

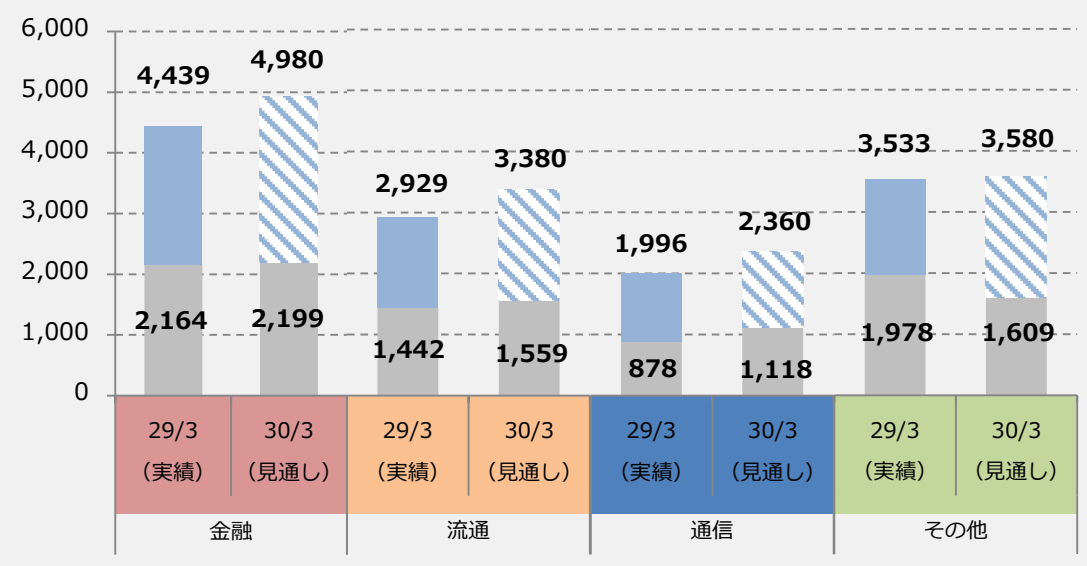
（単位：百万円）

業種	29/3		29/9		30/3		前期比
	実績	構成比	実績	構成比	見通し	構成比	
金融	4,439	34.4%	2,199	33.9%	4,980	34.8%	112.2%
流通	2,929	22.7%	1,559	24.0%	3,380	23.6%	115.4%
通信	1,996	15.5%	1,118	17.2%	2,360	16.5%	118.2%
その他	3,533	27.4%	1,609	24.8%	3,580	25.0%	101.3%
合計	12,899	100.0%	6,487	100.0%	14,300	100.0%	110.9%

◆ 業種別売上高構成比（30/3見通し）



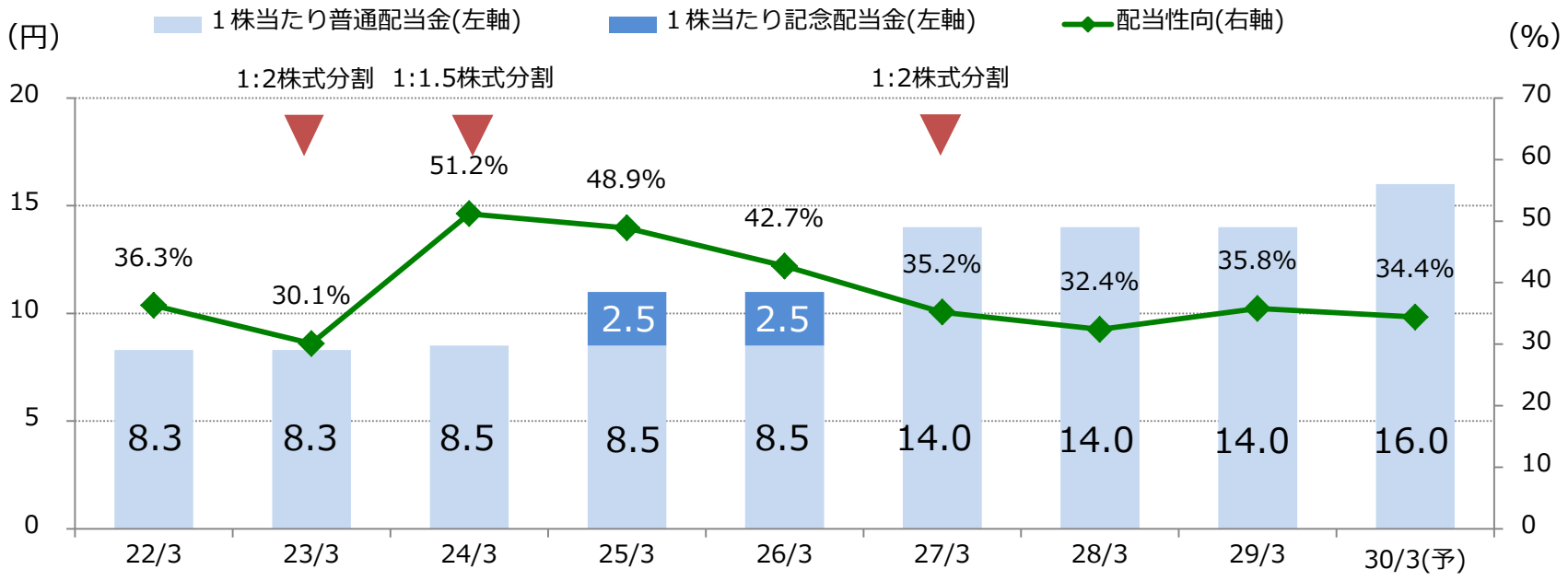
◆ 業種別売上高推移（百万円）



Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

5．配当金および配当性向の推移

今後も収益性の向上に努め、
安定的な配当を継続してまいります。



※1 配当金は、平成22年4月1日の1：2の株式分割および平成23年4月1日の1：1.5の株式分割、平成26年10月1日の1：２の株式分割の影響を遡及して調整しております。
※2 平成23年3月期は、年金制度移行に伴い発生した過去勤務債務を除いて利益額を調整し配当性向を算出しております。
※3 平成24年3月期は、税率変更並びに繰延税金資産の一部取崩しによる法人税等調整額の増加分を除いて利益額を調整し配当性向を算出しております。

Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

Ⅲ　中期経営ビジョンの進捗と今後の展望

CUBE SYSTEM

1．　中期経営ビジョン

2．　2ndSTEP 今後の展望と進捗

3．　さいごに

１．中期経営ビジョン

■2021年3月期（第49期）目標

営業利益率**10**%以上

顧客のベストパートナーとなることを目指す

2020年のビジョン
V2020

社員と会社がともに成長する企業風土の醸成を目指す

3rd STEP サービスメニューの創出
（2018年度～2020年度）

2nd STEP ＳＩビジネスの立ち上げ
（2015年度～2017年度）

1st STEP 「強み」の強化
（2012年度～2014年度）



Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

１．中期経営ビジョン

コアビジネスの拡大と新規事業創発

- アカウント戦略の強化
- SIビジネスの推進
- 新規事業の推進

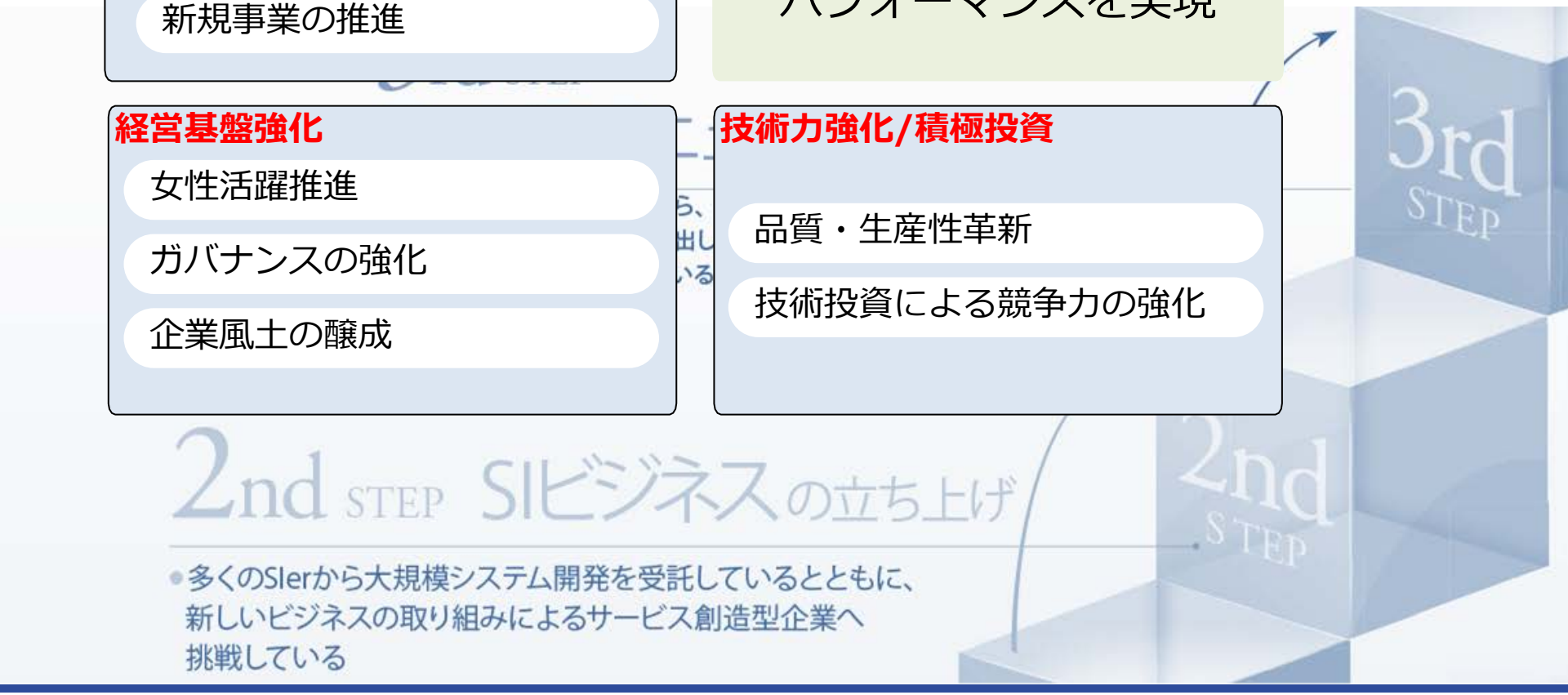
果敢にチャレンジする
風土改革を進め、
業界トップクラスの
パフォーマンスを実現

経営基盤強化

- 女性活躍推進
- ガバナンスの強化
- 企業風土の醸成

技術力強化/積極投資

- 品質・生産性革新
- 技術投資による競争力の強化



Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

2．2ndSTEP 今後の展望と進捗

コアビジネスの拡大と新規事業創発

アカウント戦略の強化 | SIビジネスの推進 | 新規事業の推進

金融分野

- ✓ オフショアを活用したSI型エンハンスプロジェクトの新規受注
- ✓ 保険マーケットでのユーザ企業との戦略的パートナーシップの構築
- ✓ ネットバンクシステムのメインパートナー化推進（Fintech関連案件）
- ✓ 銀行向けクラウド案件の領域拡大

流通・産業分野

- ✓ システム企画支援サービス拡充によるSI案件の受注拡大
- ✓ ビッグデータ関連案件の受注拡大
- ✓ 情報子会社との戦略パートナーシップの構築
- ✓ 小売マーケットで大規模ＳＩ案件の新規受注

新規事業

- ✓ Oracle Cloudサービスの提供開始
  - ・クラウドスタートアップサービス
  - ・DB移行サービス

Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

2．2ndSTEP 今後の展望と進捗

技術力強化・積極投資

技術投資　生産性革新

- ✓ RPA（ロボティクスプロセスオートメーション）への取組み開始
- ✓ ブロックチェーン技術投資の活性化
  - ・社内通貨開発
  - ・関連団体での活動/実証実験等への参画
- ✓ BRMS（Business Rule Management System）関連技術投資
- ✓ クラウドサービスの新たなサービス品目の検証

経営基盤強化

ダイバーシティ　ガバナンス強化　企業風土の醸成

ダイバーシティ

- ✓ 働き方改革推進活動の実施
  - ・プロジェクト効率化推進/健康促進

ガバナンス

- ✓ 業績連動型株式報酬制度の導入
- ✓ CSR活動の積極的推進

※RPA：Robotic Process Automation　バックオフィス（間接部門）の業務オペレーションを自動化すること
BRMS：Business Rule Management System　複雑な業務判断を自動的に行うコンピュータ・システムのこと

Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

2．2ndSTEP 今後の展望と進捗

～3rdSTEP 事業方針～

SI・サービス提供型ビジネスの拡大を図るとともに、
新たなサービスメニューの創出/サービスビジネスを展開を通じ
顧客ビジネスの発展に貢献し、顧客価値の最大化を図る

国内事業	海外事業/ オフショア開発体制	新規事業/技術投資
ビジネスモデルの変革による収益基盤強化	アジアを軸としたグローバルマーケット展開	独自性・新規性・高付加価値を持ったサービスの創出
90%	10%	

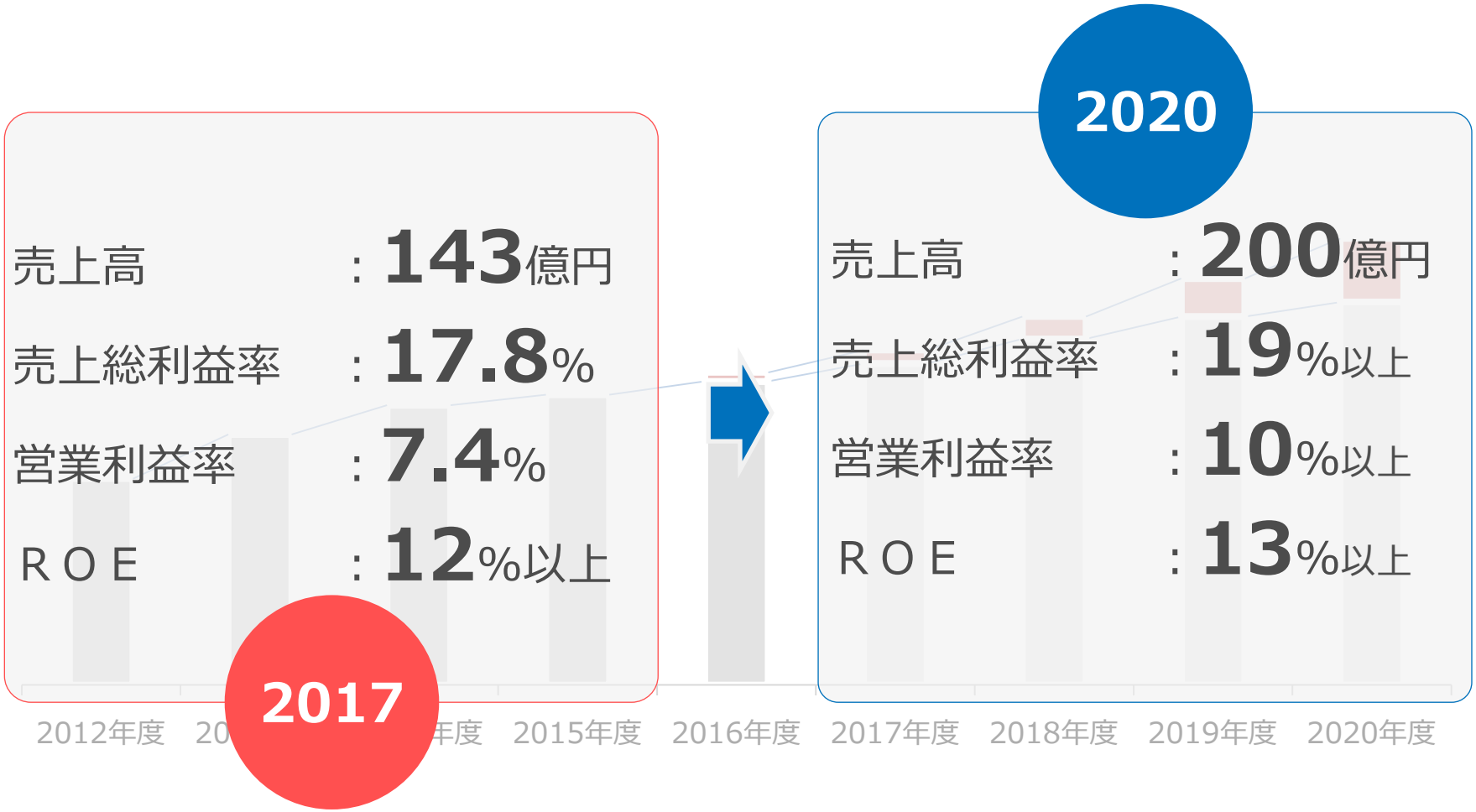
2020年の売上高構成

【全社横断機能】
業務プロセス革新による顧客満足向上
（品質監理/生産革新/BP連携施策/IT基盤）

【コーポレートガバナンス】
事業・経営を支え、成長を促進するガバナンス機能の強化
（組織/業務執行/人事/育成/CSR）

Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

2．2ndSTEP 今後の展望と進捗



Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

3．さいごに

これからも信頼される「ＣＵＢＥ　ＳＹＳＴＥＭ」へ

顧客から“ベストパートナー”と評価される企業

社員と会社（個と組織）が共に成長し、喜び・豊かさを分かち合える企業風土の醸成



- ソリューション・ＳＩビジネス
- サービス提供型ビジネス
- グローバル・ビジネス
- 積極的な開発投資
- チャレンジ
- 人材育成プログラム
- 多種多様なプロフェッショナル
- 評価・処遇体系

Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

CUBE SYSTEM
株式会社キューブシステム

http://www.cubesystem.co.jp/

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

そのため、様々な外部的要因の影響等により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性を多分に含んでいることをご承知おき下さい。

Copyright (C) 2017 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved